



第4日目(7/18) 現地3日目 気仙沼高校との交流



[速報ページへ](#)

[ホストのページへ](#)



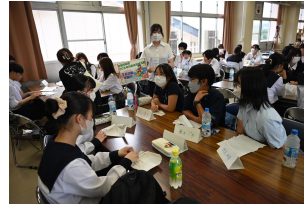
気仙沼高校との交流: 東日本大震災に関連したワークショップを、気仙沼高校の生徒と行いました。高校生同士非常に楽しそうに交流もしていました。NHKの取材が入り、春日丘高校の生徒もインタビューを受けていました。



みんなで語り部



紙を使って311 を表現



ワークショップ中



ワークショップ中



途中でクイズも



ワークショップの説明中



ちょっとひと時



ワークショップ中



ワークショップ中



まとめ



NHKの取材中



みんなで集合写真

生徒たちのふりかえり(1)

1年西村

気仙沼高校では、語り部をした経験から、震災を風化させないため、個人個人が震災から感じたことを、紙を使って形にするという活動を行なっている生徒の話聞き、非常に刺激になりました。実際に紙で形にする活動を行ってみたいのですが、それぞれが想像した震災が全く違って、言葉ではわからない、個々人が抱くイメージの違いを感じました。どおし震災が起きた時まだ幼く、断片的にしか覚えていなかった者どうし、震災はどういうものだったのか想像しました。震災などの話をただ受け身になって聞くのではなく、自分が中心となって発信することも震災を風化させないため、とても重要なことだと感じました。

3年山崎

気仙沼高校との交流では、今まで無かった、同世代で震災を経験した人と初めて関わって、今までの疑問をぶつけることが出来ました。その一方で、当時は幼かったために当時の記憶が薄れている人も多く、おそらく私たちより少し下の中学生達はほぼ記憶が無い為、風化がひしひしと伝わって来ました。語り部の高校生の方のワークショップでは、紙で表現するという、非常にわかりやすいものでありながら、みんなが様々な表現をしていて、何か別のことに活かそうだと感じました。

1年乗金

朝から気仙沼高校との交流があった。気仙沼の美味しい食べ物や観光スポット、それにまつわるクイズをしたり、11の記憶を紙であらわすワークショップをしたりした。グループで自己紹介をした時に気仙沼高校にしかないフェンシング部というのがあるらしく、全国大会出場していると聞き、とてもかっこいいと思った。ワークショップでは、当時の自分たちのことや紙ではどんなことを表したのかをそれぞれ発表しあった。気仙沼高校の子たちから聞いた話は震災当時歳だったにも関わらず食べるものがなかったり、避難所で生活する日も長かったりと当時のことをしっかりと覚えていて少しだが話を聞いた。やはりそれぐらい大きな出来事なのだ、住んでる地域で東日本大震災に対する考えはちがうのだと感じた。紙であらわす、というやり方も斬新ですごくおもしろいなと思った。同じ世代の人から聞く東日本大震災のイメージはあまり聞いたことがなかったため、短い時間だったがすごくいい経験をする事ができた。お昼からは海の手でお昼ご飯を食べたり、お土産を買ったりした。